

産前産後における母子保健サービスについて

寺本 真理 議員

産前産後の母子保健サービスは、産後期は、産後ケア事業や乳児健診などを行うなど、妊娠、出産、子育て期まで、切れ目のない支援を行っています。

訪問型の産後ケア事業について考えを伺います。

助産師等が対象者の自宅に赴く訪問型は、心身のケア

新鎌ヶ谷駅～北初富駅間の緑道、および北初富駅周辺について

徳野 涼 議員

新鎌ヶ谷駅から北初富駅間の緑道の役割を伺います。

緑のネットワークの実現のため、両駅の周辺地区の回遊や移動を可能とする緑道として、市民の利便性の確保とともに、緑の配置により、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の場としてリフレック

シユできる空間を整備します。具体的にはどのような計画になっていますか。

回遊ゾーン、公園・緑地・広場ゾーン、駅前広場整備活用ゾーン、道路整備活用ゾーンを配置します。回遊ゾーンは、幅員約7mの遊歩道として自転車通行も可能とします。

学校給食について

矢崎 悟 議員

成長期や運動量など個々の違いから、給食の分量の過不足の課題がありますが、配膳時に個人の喫食量に応じて調整することにより、完食の達成感や食品ロスの削減に繋がると考えますが市の見解を伺います。

学校給食は、食育の面から機会の均等や同じ量の配食となりますが、他市では、配食の量を調整する事例もあるため、調査研究していきます。

市川市や東京都内の複数の特別区などで学校給食費の無償化が進んでいます。子どもを安心して産み育てられる社会の実現に向け、本市の無償化に関する見解を伺います。

オーガニック、有機食材の給食への導入及び給食費の無償化について

針貝 和 幸 議員

有機食材使用の現状について伺います。

安全な食材の購入に努めており、有機食材までは求めていませんが、有機栽培と表示のある品物が納品されることがあります。

有機栽培の品物は意図的な納入なのか伺います。

納入業者において数量の確保ができない場合の臨時的な対応はなっていますか。

有機食材の納入数の把握はできないでしょうか。

今後、有機食材の納入数について把握に努めます。

他の自治体でも部分的に導入されているような有機米

自転車の交通安全対策について

葛山 繁隆 議員

本市の取組について伺います。

小中学校等において、警察や交通安全協会と連携した体験型の自転車安全教室や中学生を対象としたスタントマンによるスケアード・ストリート自転車交通安全教室を実施し、また高齢者に対しても自転車の正しい乗り方を講話や実技で教える交通安全教室を実施しています。

自転車利用者のヘルメット着用に関する市の認識を伺います。

警視庁交通局によると、平成30年からの5年間で、自転車乗用時に交通事故で死亡する方の6割が頭部に致命傷を負っており、ヘルメット未着用者の致死率は着用者の約2.1倍であることからヘルメットを正しく着用することが、命を守ることに繋がると認識しています。このため交通安全教室を通じて、ヘルメットの着用の重要性を説明するとともに、広報やホームページで周知を図っていきます。



交通安全教室の様子

市内のサークル、団体活動について

後関 俊一 議員

公共施設において活動しているサークル、団体に対する支援について伺います。

毎年度「サークル・団体一覧」を作成し、活動内容を広く紹介するとともに、ホームページに掲載し、希望者は印刷した冊子を提供し、興味を持たれたサークル、団体を紹介するなど、新規会員加入に繋がるよう案内をしています。

市民活動推進センターにおいて、団体の運営や活動に関するだけでなく、異なる活動を行う団体同士が協力して地域の課題に取り組む協働についても、経験豊かなアドバイザーが積極的に相談を受けています。

インターネット議会議中継を配信しています

市議会では開かれた議会を目指し、本会議の様相を生中継及び録画中継により配信しています。

鎌ヶ谷市議会のホームページアドレス及び二次元コードは1面に掲載しています。

鎌ヶ谷市における健康寿命の延伸に向けた取組について

山中 優宏 議員

コロナ禍で減少した高齢者の運動及び社会参加を促進するため、公民館等での参加型イベント、老人憩いの家や談話室などの拡充について伺います。

老人憩いの家や談話室などの増設要望があった際は随時

支援を検討しますが、現在策定中の新たな高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画でも健康づくりや社会参加の推進を検討していきます。

各種取組や制度の認知度をどのように向上させますか。

地域活動等については、

ごみの減量化に向けた本市の対応等について

鈴木 哲也 議員

生ごみ処理器「キエーロ」の特徴について伺います。

「キエーロ」は、土の中のバクテリアを利用し、生ごみを消滅させる生ごみ処理容器で、用意するのは黒土のみとなります。食用油やカレーなども投入できるなど、投入物の制限はほぼ無く、生ごみを土に埋めるため、臭いの発生を抑えられ、分解後の土は堆肥として使えます。電気式ではないことから、維持経費がかからず、小型のもので、マンションのベランダ等に置けるなどの特徴があるようです。

「キエーロ」の購入に対する補助について、市の見解を伺います。

生が抑えられ、分解後の土は堆肥として使えます。電気式ではないことから、維持経費がかからず、小型のもので、マンションのベランダ等に置けるなどの特徴があるようです。

北千葉道路地下化への計画変更について

伊藤 仁 議員

北千葉道路計画の進捗状況について伺います。

鎌ヶ谷区間は、引き続き早急事業化を要望してまいります。

北千葉道路早期整備の課題を伺います。

コスト削減と事業期間を

短縮し、できる限り早期整備を目指すため、専用部の自動車専用道路は高架構造を基本としています。他の事例から地下構造は高架構造に比べ事業費がおおむね2倍から3倍であることが確認できました。

高架も地下も実際の積算をした上でコスト比較をすべきか。

令和5年2月の千葉県議会、仮に市からの変更要請があれば、適切に対処するとの執行部の答弁がありました。本市では計画の変更を考慮していません。

校則の見直しについて

佐藤 剛 議員

学校の校則の内容や改正手続きなどの策定の在り方、公開の状況などに問題がある場合には、各学校だけに任せず、教育委員会としても校則を調査したうえで、学校の主体性を尊重し、一定の方向性を示す必要があると考えますが、見解を伺います。

現在、定期的な校則の調査は行っていません。各学校の状況により校則の内容が異なるため、一概に指導することは難しいと考えますが、各

